

2019.09.28 (土) 14:40~16:40

「大阪国際会議場」10階/第7会場 (会議室1009)

CDEJ 療養指導セミナー

目的

糖尿病療養診療における多職種協働のチーム医療は、いかにあるべきか、それぞれの職種の立場から現状をみつめ、協働と連携について話し合う情報交換の中から、チームの発展を考える

どなたでも参加できます

座長 細井雅之 (大阪市立総合医療センター)
武田裕子 (東京都済生会中央病院)

交流集会

OPINION EXCHANGE MEETING

テーマ: どうする透析予防

“G6 大阪サミット”

参加資格

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、他

CDEJ 資格の有無は問いません

2011年診療報酬から糖尿病透析予防指導管理料が認められました。これは、ご存じの通り、「医師、管理栄養士、看護師または保健士の3職種によるチーム医療に対する診療報酬であり、急増する糖尿病患者の腎機能が悪化し透析導入になることを予防することが主目的」です。透析予防診療チームで、各施設で取り組まれていると思います。

ところが、高齢患者の急増、若年中断患者の増加で、対象患者は増加の一途ではないでしょうか？どうすれば透析を予防できるのか？どうすれば効率的にアプローチできるのか？これは3職種だけでは解決できる問題ではなく、CDEJに関わる6職種(医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士)の知恵が必要です。そこで、G20大阪ではなく、“G6大阪サミット”として、それぞれの職種、施設のアイデアをうかがってみたいと思います。症例は、高齢者と若年者の糖尿病腎症の2例です。活発な交流を期待しています。

ファシリテーター

看護師/CDEJ

藤原優子、 倉岡賢治
酒井菜穂子、角屋麻由
西昌子、 廣瀬美由紀
山村幸子

管理栄養士/CDEJ

西尾勢津子、 蔵本真宏
藤本浩毅

薬剤師/CDEJ

山崎美由紀

臨床検査技師/CDEJ

横田裕香

理学療法士/CDEJ

井垣誠、 浅田史成

参加希望者(定員 100人)は =職種のかたよりを防ぐため=

Step 1 「日本糖尿病療養指導士認定機構」の Web サイトより
事前参加登録を行ってください。

余席あれば当日、会場入り口にてお申し出順に、
ご案内いたします。
ただし定員数に達し次第、締切らせていただきます。

Step 2 各テーブルには CDEJ ファシリテーター 1人参加します。

Step 3 **ミニレクチャー講師**
⇒ 大阪市立大学医学部准教授・絵本正憲

Step 4 討議の後、テーブルごとに話し合われた内容を発表し、
意見を共有します。